

平成28年度

兵庫県立視覚特別支援学校

支援部

アイ・あい だより



7月号

梅雨もようやく明けようとしています。夏休みの計画をそろそろ立て始めている頃でしょうか？

今年は猛暑になると言われています。熱中症対策・健康管理をしっかりと、元気に夏を乗り切りましょう！！

夏休み中の研修会や行事を計画していますのでご案内します。たくさんの方の参加をお待ちしております！

おしらせ

「見えない・見えにくいってどんなこと？」

～視覚障害のガイドヘルプ&点字体験～

日時 平成28年8月2日(火) 9:30～15:00

対象 視覚障害や点字に興味がある方(中学生以上)

内容 「視覚障害ってなあに？」
全盲と弱視について、視覚障害者の立場からなど。
「ガイドヘルプってなあに？」
街中で視覚障害者を見かけたときに役立つポイント
「点字ってなあに？①②」
身近にある点字の紹介、点字盤で書いてみるなど。

弱視教育研修会

日時 平成28年8月4日(木) 9:50～15:30

対象 小中学校等に在籍する弱視児童生徒を担当する教職員
弱視教育に関心のある関係者 本校教職員

内容 講演1「まぶしさ(羞明)と夜盲、色覚について」

講師 本校職員

講演2「拡大読書器の種類と使い方(実践)」

講師 ルミポール 前田 照志氏

体験活動「弱視キットによる弱視体験」

視覚障害関連機器の展示・見学

パソコン講習会

日時 平成28年8月3日(水) 9:20～11:30

対象 視覚障害児・者、支援者で音声ガイドソフトに興味のある方

定員 10名

内容 音声ガイドソフトを活用した基礎的なパソコン操作の講習

砂場遊びのス・ス・メ

皆さん、こんにちは。今年から支援部長を務めさせてもらっている大西です。きょうは長年この学校に勤めていて、最近感じていることをひとり言でつぶやいてみます。

私は、幼児や小学校の低学年を担当した時は、よく砂場で遊びます。それは砂場が宝の宝庫だからです。

えっ、意味わかんないって……。

じゃあ、少し説明していきましょう！



① 裸足で砂場を歩く

砂の感触を足裏で感じるすることができます。当然ですが、砂と地面、芝生の感触は違います。そのことを実体験するわけです。時々砂に触れるのを嫌い、触るところか裸足で足を踏み入れることなんて考えられないとばかりに大声で泣く子どもを見かけます。

そんな時は、子どもを抱きかかえて砂場の真ん中に降ろしてあげます。子どもはお尻だけを砂につけて、足と手は絶対に砂に触れないようにまるで体操競技のV字バランスのような姿勢で泣き続けています。腹筋は強くなっていいかもしれませんが(笑)。

そんなことを何度か繰り返していると、やがて子どもは宙に上げていた手と足を砂の上に下ろすようになります。良かったネ！だいぶ泣き叫んで抵抗していたけど砂の感触ってそんなに悪くないでしょ！



② 穴掘り

砂場で穴を掘ります。手をどのように使い、指をどのような角度で曲げ、どこに力を入れたらよいかを学びます。そのうち片手より両手で掘ったほうが効率がよいことも会得していきます。お友達や先生と競争したり、掘った後で穴に足を埋めてそこから脱出。「ウワー、怪獣〇〇ゴンだぁ」とひとしきり遊びます。砂に慣れてきた子ども達は大喜びします。

まだまだ、たくさんの砂場遊びがあるので、紹介していきます。